



- 生涯学習・社会教育研究大会(兼)行動人交流集会
交流タイムスナップ特集
- 「虹色企画」三種町訪問
□ 潟上市「地域子育て熟議」
□ 調査研究報告書紹介②

秋田県生涯学習センター(編集:社会教育アドバイザー)

平成30年度 秋田県生涯学習・社会教育研究大会(兼)行動人交流集会 「交流タイム」スナップ

今年度の県生涯学習・社会教育研究大会(兼)行動人交流集会が、テーマ「地域の教育資源の再発見」の下、11月6日(火)に当センターで行われました。参加した人たち同士で交流を深める「交流タイム」は、今年も大変盛り上がりました。今回は、その様子をスナップでご紹介します。なお、研究大会の基調講演、事例研究等の「実施レポート」は、当センターホームページに掲載中ですのでご覧ください。



〈たくさんの人が集いました〉

ステージ発表

〜オカリナ演奏と自作ビデオ紹介〜

しゃべり場

〜興味のある話題で雑談するコーナー〜

パネル展示コーナー

〜7つのブースで深まる交流〜



〈笑顔がいっぱいでした〉



〈はすむ! おしゃべり〉



〈パネル展示に興味津々〉



〈熱心に聞き入る〉



〈じっくりたっぷり雑談〉

虹色企画

訪問インタビューシリーズ 第6回 三種町教育委員会 鎌田義人 教育長

— 三種教育への町民の期待は…

子どもたちが身近な地域の中で成長するとともに、子どもから大人まで共に学び成長し続ける…、その基盤を築く教育施策への期待を感じる。

— 子どもの育成に関する戦略は…

地域で子どもを見守り、育てるため「学校支援事業」に力を入れている。今年は、新たに「教育活動推進員」制度を立ち上げ、地域と学校の繋がりのさらなる拡充を図っており、その成果は、学校支援通信「みたねの学校」を通して町民に情報提供されている。

また、教委とPTA連合会、校長会等で作成した「自立プラン」を全戸配付して家庭教育の充実を図っている。

創造性豊かな文化と
きらめく人を育む
三種町

“絆”を強める
生涯学習

三種町教育委員会
鎌田義人 教育長

— 三種の生涯学習が目指すもの…

具体的には、公民館を中心にして世代や時代に即した学習機会や情報を提供しながら、三種の生涯学習を推進していきたいと考えている。

そのため、地域のリーダーを育て、地域人材による自主的な活動が刺激となって、各年齢層が元気になるような施策に着手する必要がある。

身近な地域での人の繋がりを基盤とした地域交流の充実を、“絆”を強める生涯学習の根幹に据えたい。

教育長室には、「明るい笑顔、元気なあいさつ、親切な対応」の教委訓。教育長さんの語る“絆”の自然体がそこにありました。

いいじゃんかたがみ会議・かたがみっ子元気ネット主催の「熟議」の会場では、小学生や大学生、若い世代のお母さんやお父さん、地域活動を担ってきたお年寄りなど、70人を超える参加者の声が飛び交う「わいわいトーク」で盛り上がっていました。

第1ラウンドでは、異年齢、異業種で編成された10グループで話し合われ、「子どもに任せる大人の度量、コミュニケーションの広がり」などが話題となりました。また、第2ラウンドでは、地域ごとのグループで「世代間交流、子ども主体の行事を支える大人のつながり」などの意見交換を通して、子育て論議がどんどん深まっていきました。



大人が
変わる!!

まずは
大人から

みんなの
挑戦!!

大人のコミュニ
ティを
作る

各取組の交流

参加者の
ために
情報交換

地域に
ある学校
と
学校と
ある地域
と
の
関係
を
再考
する

調査研究 ミニセミナー

連載2回目 「平成29年度秋田県生涯学習センター調査研究報告書」 概要

連携・協働による地域活性化事例に関する調査研究

～ 多様な連携・協働事例から見る社会教育行政の役割と可能性に関する考察 ～

実践事例の紹介

秋田県立雄物川高等学校「総合的な学習の時間『パスカルタイムⅡ』」

雄物川高校では、総合的な学習の時間「パスカルタイムⅡ」を通して、地域のまちおこし事業に積極的に協力し、卒業後も地域に貢献する人材の育成を目指しています。

雄物川地域で立ち上げた「すいかソフトクリームプロジェクト」は、多くの人たちが参画して地域全体を盛り上げています。雄物川高校家庭クラブでは、「おものがわ活性化プロジェクトpartⅡ～すいかでつなげる地域の「わ」!～」のテーマの下、すいかソフトクリームのフードデザインや製造・販売の実践を通して、地域の人々に活力を感じてもらえるための取組をしました。

成果としては、「パスカルタイムⅡ」で培われたコミュニケーション力と自己表現力を実践で生かせることや、地域に貢献する若い人材の輩出と、そこに続く在校生が成長するという「人材の再生産」が行われていることなどがあげられます。(★「秋田魁新報(H30.11.11)」に、今年度の家庭クラブの活動が紹介されています。)〈生徒手作りのすいかソフトクリーム〉



「パスカル」：Psychoeducation(心の教育)、Assertion Training(相互尊重の自己主張)、Structured Group Encounter(構成的グループエンカウンター)、Social Skills Training(社会人としての基本) Career(キャリア教育)、Life Skill(ライフスキル)の頭文字「PASSCAL」。

【「調査研究報告書」は、当センターホームページに掲載中ですのでご覧ください。】

七色

「知ることを学ぶ(learning to know)」、知識を得るための手段・方法を習得する。「為すことを学ぶ(learning to do)」、多様で実用的な能力を身に付ける。「共に生きることを学ぶ(learning to live together)」、他者を発見・理解し、一つの目標・目的のための共通実践に取り組む。「人間として生きることを学ぶ(learning to be)」、個人の自己実現や人格の完成を目指す◆これは、1996年ユネスコ21世紀教育国際委員会が、生涯学習を「21世紀の鍵」と位置付け、世界に向けて提唱した「学習の4本柱」です。20年以上経った今でも凛たる格調の高さを感じます◆AI(人工知能)時代の到来を実感する昨今、知と行動が結びついたクリエイティブな循環型社会への期待が高まっています。生涯学習の今日的課題でもある「時代の変化に即した学び」や「新たな課題に向き合い、自らが答えを導き出す学び」、「地域課題の解決や学習成果の地域還元」、「世代・立場・活動を横断する連携・協働」などの解決に向けた人知の結集が待たれます。